

記念写真に納まる、表彰を受けた7企業の代表者ら
＝横浜市中区の横浜メディア・ビジネスセンター（花輪 久写す）



工業技術開発大賞表彰式

革新の力誇りに

入賞7社

県内の中堅・中小企業の優れた技術や製品に贈る「神奈川県工業技術開発大賞」（県、神奈川新聞社の共催）の表彰式が4日、横浜市中

区の横浜メディア・ビジネスセンターで行われた。31回目の今年は計29件の応募があり、大賞2件、ビジネス賞2件、奨励賞3件が選ばれた。

大賞を受賞したのは、エヌエフ回路設計ブロック（横浜市港北区）と、ニコンエンジニアリング（同市神奈川区）の2社。

ビジネス賞は昭和真空（相模原市中央区）、東新工業（横浜市金沢区）の2社、奨励賞はジャパンプロ

ープ（同市南区）、テクノメディアカ（同市都筑区）、ブルー・スターR&D（相模原市中央区）の3社が受賞した。

表彰式で黒岩祐治知事は「世界をリードする技術が神奈川から生まれることは心強い」などとあいさつ。各社の代表者に対し、黒岩知事と並木裕之神奈川新聞

社代表取締役社長から、賞状や盾などが贈られた。

選考委員会の関口隆委員長は「いずれの技術・製品も時代のニーズにこたえるべく開発された。神奈川のイノベーション力として大いに誇れるものだ」と講評。受賞企業のさらなる発展に期待を寄せた。

（岡本 晶子）